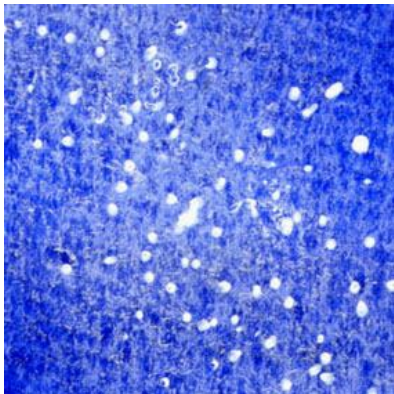


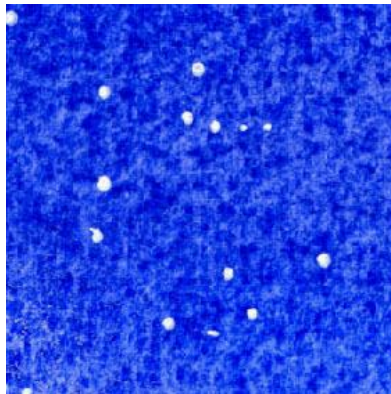
天の川は我々人類が住む太陽系がある「天の川銀河」の実体です。銀河は円盤状で、太陽系はその中にあるので、星(恒星)はすべての方向に見えます。しかし、銀河の中心付近(いて座の方向)には星が集中している(濃く見える)ので、天の川として見えるのです。実は非常にぼんやりとした光芒で、北軽井沢や裏磐梯のように、空気が澄み、山に囲まれて街明かりが届きにくい土地でしか見えません。今年の夏にも見たいと思っています。



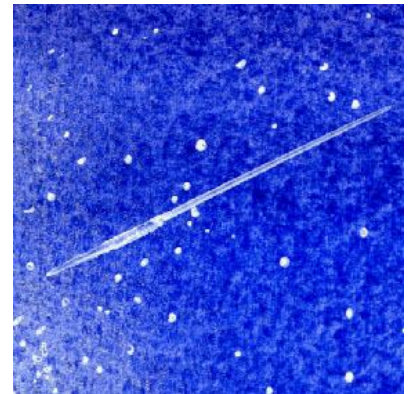
これが完成した絵です



1、天の川は白のパステルで表現し、そのあと不透明な白いペン(写真に文字を書くペン)で星を加えました



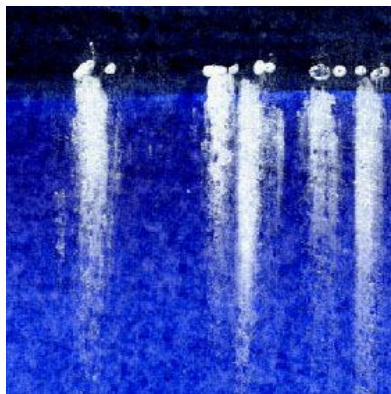
2、星(恒星)は、できるだけ等間隔(人工的)にならないように、パラパラに描きます



3、流星も一つ描いておきました。これは一発勝負なのですが、ちょっと失敗でした



4、磐梯山の山影は、ブラックのシルエットで描きます。一回しか塗っていませんが、偶然の濃淡で立体感が出ました



5、対岸の灯火の反映は、白のパステルを指で下に伸ばします。伸ばす時、指の左側にものさしを当てるとうまくいきます



6、「ヌーベル・カレール・パステル」の「S001」を愛用しています。「カレール」とは「四角い」という意味ですが、角で細い線も描けて便利です